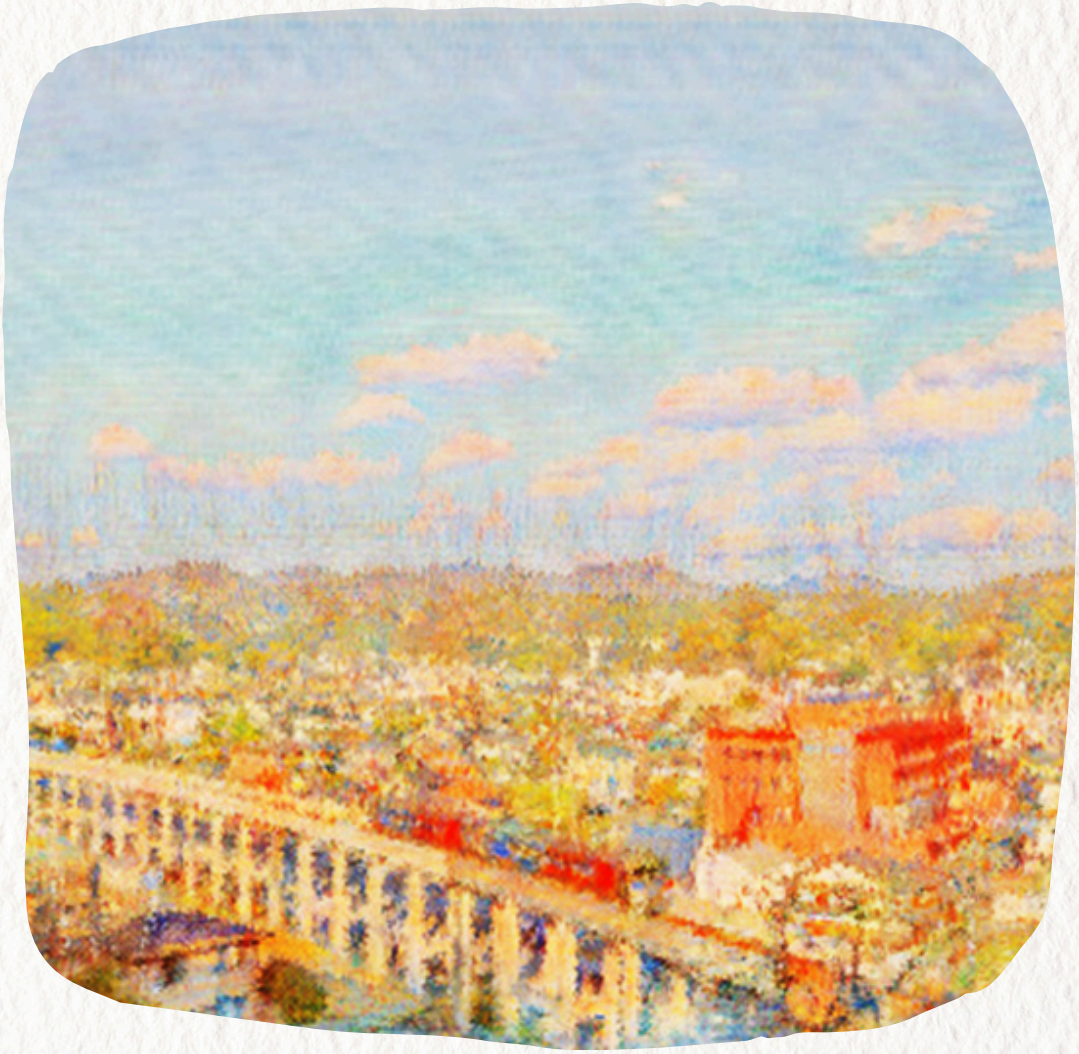
内子町に住んどってよかった

エピソード



はじめに

この場をお借りして、
「内子町に住んどってよかったエピソード」に
応募してくださった皆さまへ御礼申し上げます。
いただいたエピソードは、内子町の何気ない日常の
写真と共に日めくり万年カレンダーにいたしました。

しかしながら、そこでは
エピソードのすべてをご紹介できませんでしたので、
この度、エピソード集を作成させていただきました。

きっと、皆さまの内子町に対する
思いあふれるエピソードが
心をじんわりあたたかくさせてくれることと思います。

★エピソードは原則、原文ママです。
★【】はタイトル、文末にペンネームを載せています。

内子町に住んどってよかった

【 内子町に住んで良かったこと 】

近所のおじいちゃんおばちゃんが元気！

つーすけ

【　わたしの密かな楽しみ　】

小田内子間の通勤時間は約２０分。
国道にはほぼ信号はなくスムーズに車を走らせることができる。
小田に来る前までは信号が多くて道が狭い、通勤ラッシュで混む地域に住んでいた。
ここでは穏やかに流れる小田川を横目に、
フロントガラス越しに見る木々や花から季節の移ろいを感じたり、
国道沿いに歩くお遍路さんの様子を見ることができたりと、日々変化して飽きない。
お気に入りの音楽をかけながら職場へと向かうこのひとときはドライブのようで心地良い。

harami

【　内子で感じる多様性　】

引っ越してきてまだ半年の僕が応募するなんて図々しいですが、
そんな僕を受け入れてくれるのが内子町だと思っています。
以前住んでいた所では一つの会社で同じ仕事を黙々とこなす日々でした。
それが当たり前でした。
でも内子町は違いました。
季節ごとに色んな仕事があって、一人ひとり違った働き方をされていて、
多様性に満ちた働き方があることを知りました。
色んなことに挑戦したい性格なのでそれが本当に嬉しくて住んでよかったと思っています。

派手ヘンドリックス

【　推しタウンうちこ　】

内子町に住んでよかったと感じるのは、何よりも地域の人々の温かさです。
私は地域おこし協力隊として赴任しましたが、
内子町の方々はすぐに私を受け入れ、まるで家族の一員のように接してくれました。
美しい自然と伝統文化に囲まれ、日々の生活が豊かに感じられます。
内子町の人々と過ごす時間は、私にとって貴重な財産です。
この町での暮らしが、これからの私の人生に大きな影響を与えることを確信しています。

じょりー

【　感謝の手紙　】

私が内子町の文化施設、木蠟資料館に勤めさせていただいてから３０年程になる。
その間、国内はもちろん国外からも多くの人たちが訪ねてくださり、
案内をしながら素敵な出会いを重ねてきた。
櫨の実から白蠟の開発、品質の良さが外国に輸出されるまでの生業、
明治から大正にかけての発展の名残を白壁の重厚な建造物群が今に伝え残っている、等々。
去る５月、高知県四万十市の同世代の女性から手紙が届いた。
「１２年前熱心にガイドしてくださったことが印象に残り、再び６人で訪ねて来ました。元気で再会、嬉しかったです。記念写真と心ばかりですが、四万十市の贈り物です。これからも人生いきいきお互いに健康で楽しく過ごしましょう。楽しい一日に感謝。ありがとうございました。」私にとっても特別な場所なのです。

マチ

【　町並みガイドは私のライフワーク　】

定年退職後、町並みガイドをしています。
各地から内子町を訪れて来られる皆さんを案内します。
古い町並み、鏝絵で飾られたお屋敷、内子座など先人が造り、
それらを壊さずに守ってくれた人たちに思いをはせて案内します。
生家は木蠟生産、生糸生産そして私が生まれたころは桐材業をしていました。
内子の産業と共に歩んだ歴史にも思いをはせガイドをしています。

ペンネームなし

【　内子に住んどったら　】

専門学校生時代、見ず知らずの青年団に飛び込み、そこで盛んだった演劇に出会い、
劇団立ち上げる事になって内子座の中に入れました。
全ての事から出会いが生まれて、
なんとなく地域でも名前を覚えてもらい、
その繋がりから愛媛の舞台に携わる人とも出会い…。
内子に住んどったらとうとう芝居をしにアラスカまで行ってしもた。

とくちゃん

【　内子の宝物　】

秋田県に所縁のある俳優さんが内子に映画のロケにいらっしゃりエキストラとして共演したので、本番前に気付け薬として一般的な地酒を飲んでいただいた。

「甘い酒だね、でも内子の食事に合うように作られた美味しい酒だね。」と一言。

お酒の好きな有名人にお酒を褒められて気分が良かった。

内子はその時期に、内子でしか食べられない素敵な食材の宝庫。

内子の美味しいは、私自慢の宝物です。

とくちゃん

【　移住者へのあたたかさ　】

内子町に移住をしてきて感じたのは、
今までにたくさんの移住者の方が内子町に来て地域の方々と交流を深めていたためか、
私のような移住者に対してもとても親切にしてくれたことです。

ＪＯＥ

【　地域との交流が豊かなまち　】

私が移住前に住んでいた場所は、自治会はあるものの、
あまり地域のお祭りなどはありませんでした。
内子町に来てからはスポーツ大会やお祭り、愛護班など、
地域と関わるイベントがたくさんあることがいいなと思いました。
子どもたちもお兄ちゃんお姉ちゃんやたくさんの大人たちと関わることができ、
良い機会になっています。

JOE

【　季節を楽しむ小田での暮らし　】

都市部にある大学へ進学しましたが、就職で町内にUターンしました。
今は、四季が感じられる暮らしを満喫しています。
家からわずか３０分で小田深山に行けるので、夏は渓流トレッキング、冬は家族でスキーと、
季節ごとのアウトドアを楽しんでいます。
都市部にはない暮らしの魅力に触れ、住んでいて本当に良かったと感じています。

むろ

【　これからもっと好きになる　】

今、松山市内の高校へ通っています。
中学生までは、内子町は田舎だし、ファストフードもないし、
魅力と言われても特にありませんでした。
強いて上げるならからりのアイスクリームはおいしいなぁくらいだったけど・・・
内子駅には特急が停まるので、高校の友達と遊んだりするのに不便はないです。
将来は、県外の大学に進学するつもりだけど県外に住んだら内子町の魅力（田舎の良さ）に
もっと気づけるかなと今は思っています。

Ｈａｒｕ１１２９

【　将来は農業をしたいと思っています。　】

今は小学６年生です。
将来は農業をしたいと思っています。
でも、僕の家には、田んぼも畑もありません。
だけども、田んぼも畑もなくても農業したい人にはいろんなことを優しく教えてくれるし、
田んぼも畑も貸してくれるし、いろいろな補助をしてくれるから、
内子町はいいぞとお父さんが言っていました。
僕の家には近所のいろんな人が野菜や果物を持ってきてくれます。
将来は、近所の人にいろんな野菜や果物を作ってお礼がしたいです。

カービィ

【　こそだてしやすいぞ　】

内子にご縁があって住み始めましてから２０年以上になります。
今は、３人の子どもにも恵まれました。
子どもを授かる前、結婚する前から、内子って子育てするのにはいいなぁと
なんとなくだけども思っていました。
実際、子育てしてみて（現在も子育て中）いろんな不安や悩みもありましたが、
保健センターの方がいろんな教室を開いてくれて支援してもらえました。
幼稚園・小学校・中学校・高校と子どもが成長しましたが、
やっぱり内子町は子育てしやすいです。
欲を言えば、大学・専門学校への奨学金がもう少しいただければ嬉しいかな。

さるり

【　愛知じゃないぞ　】

今は中学2年生です。将来は出版社に勤務したいです。
スマホばっかり見て、お母さんに叱られています。
内子町は田舎だし、愛媛も田舎だし、四国も田舎です。
よくテレビで愛媛が愛知と間違われていたりして悲しいです。
内子町は、全国で有名じゃないと思っていたけど・・、
お父さんが、そんなことない、色々全国的にも有名だと言っていました。
スマホで検索したら、いろんな人が内子町はいいとこだとつぶやいていました。
内子町出身ですといって知っているよと言われると、なんか嬉しいです。

はっちー

【　時間（とき）の流れと幸せの変化　】

町外出身の私は、自然に囲まれた山間部で3人の子どもを育てています。
華やかな都会にあこがれて高校卒業と同時に生まれ育った地元を離れた経験があります。
先日、5年間生活した街へ家族と出かける機会があり、
懐かしさで心が躍り、ワクワクすると思っていた場所は、
あの頃と違った景色として私の目に映りました。
街の様子が変化したのではなく、内子町に嫁いで十一年。
自然や人に恵まれたこの町での生活が幸せなんだなぁ。
「内子町に住んどってよかった」と改めて感じました。

モクレン

【　毎日がエピソード　】

都会から移住してきた私にとって、
四季折々の姿を見せる自然に囲まれ、
澄んだ空気を感じ星空を見上げ、
地元産の新鮮な食材やお酒を楽しみ、
歴史と伝統が身近な町並みを歩き、
歩くたびに知り合いに会って挨拶を交わし、
地域のみなさんの熱意が支えてきたお祭りや、
いっしょに創り上げられるイベントに参加できる
内子町での暮らしは、その一つ一つがかけがえのない、
「内子町に住んどってほんとによかった」と感じる出来事です。

Y
N

【　挑戦を応援してくれるまち　】

内子町に帰ってきて5年。
さまざまなことに挑戦しました。
起業、写真展、コワーキングスペース運営、学校関連の仕事…など
興味があることにたくさん挑みました。
もちろん上手くいかなかったことも多いけど、
それも含めてたくさん挑戦できる。
そして応援してくれる人がたくさんいることがとても嬉しかったです。
これからもたくさんの人に頼って巻き込んでもっと楽しく豊かな内子になるように挑戦します！

もろみ

【　小田川を眺めてほっと一息　】

「からり」へ農産物を出荷している農家です。
夏から秋の週末は「ただ今、〇〇が入荷しました！」の放送と
農産物を求めるお客さんでからりは活気で満ちています。
出荷に同行しバーコード貼りのお手伝いをしてくれた子どもへのご褒美には、からりアイス。
美味しそうに、ほおばる子どもの笑顔を見ながら、
小田川の清流を眺めてほっと一息するひとときは、今日一日、がんばった私へのご褒美です。
自然の恵みに感謝しながら、またがんばろうと思う瞬間が内子に住んでいて好きな時間です。

モフモフ

【　沖縄・宜野座村との絆　】

宜野座村親善訪問交流事業に参加しました。
私は人見知りですが、宜野座村の皆さんの明るく朗らかな性格のおかげで、
あっという間に心もほぐれました。
宜野座村でのあたたかい心のこもったおもてなし、青く澄んだどこまでも続く海、
大自然の中での様々な体験はこれまでで一番の感動でした。
五十年もの長い間、交流が続いていることに驚き、
私もこの交流に参加することができて本当に幸せだと思います。
これからも宜野座の友達との絆を大事にしていきたいです。

うさこ

【　内子こども狂言くらぶ　】

私は小学1年生の時から内子こども狂言くらぶで狂言を習っています。
はじめは、声も小さく、姿勢も悪かったけど、茂山千三郎先生に教えていただき、
練習を重ねていくうちに、上達して、自信を持てるようになりました。
内子には内子座があって、先生方や役場の皆さんのおかげで
毎年すばらしい公演ができています。
今年は五十崎共生館の屋外ステージで演じました。
狂言を通して貴重な経験ができて、内子に住んでいて本当によかったなと思います。

にゃんこ

【　いつもあたたかく見守ってくれてありがとう　】

近所のおじちゃんおばちゃんがいつもあたたかく子どもたちを見守ってくれています。
広報や学校だよりで名前を見つけると、家族のように喜んでくれます。
また家の周りに蜂の巣箱を設置してくれて、自家製ハチミツを採取させてもらいました。
はじめて食べる採れたてのハチミツは驚きの美味しさでした。
旬の美味しい農産物を頂いたり、作りたてのお豆腐を持ってきてもらったり、おじちゃんおばちゃんのあたたかい心に助けていただいて、子育てできることに感謝しています。
いつもありがとう。

こもれび

【　一粒のソバの種からはじまる交流　】

ソバの種をまきました。せっせせっせと蒔きました。
畑一面白い花、ソバの花が咲きました。
これは程内そば物語紙芝居の一節です。
平成１３年から続いている程内地域のソバ事業。
最近は地域外の方や地元の中学生もお手伝いしていただきます。
種まきから収穫そしてソバ打ち。
１１月２３日　程内農業祭に具だくさんのぼっかけそばを
みんなで「うまい。うまい。」といただきます。
小さな小さなソバの実がほんわか幸せくれました。

ハッピーばあば

【　内子町に住んどってよかったベスト３　】

山里は自然にあふれ、静かに歴史を感じる町並、改めていい町だと思う。合併して内子町民になり私個人的によかったなと思うことは、

１　私の住んでいる地域の町の無形文化財中川万歳を内子座で発表してその後沖縄へ行って文化交流ができたこと。

２　広報うちこで初心者向けの俳句教室募集があり参加した。何年たっても上達はしないが仲間と共に楽しく「ホップ句会」が続いていること。

３　ＪＲ内子駅には特急が止まる。合併してから列車がとても好きになり、通過するのを見るだけでワクワクして心がときめく一時を過ごすことができること。

中川ドジミ

【　内子って温かい町だなぁ　】

私は、東京都出身で現在寮に入り、内子高等学校小田分校に通っています。
だからこそ、内子町で特にいいと思ったことがあります。
それは、地域の人がとても温かいことです。
僕は以前、五十崎で行われている大凧合戦に参加しました。
元々、百畳凧が揚がるところが見たくて行ったため、何かをする予定はなかったのですが、
五十崎の祭りのスタッフの人に東京から来たことを伝えたら、
百畳凧を揚げるのに参加させてもらうことができました。
そんな外から来た人に対して優しく迎え入れてくれる内子町の方々が大好きです。

松屋は丼ものを頼むとお味噌汁が付いてくるから好き

【　マッチョ君と芋掘り。　】

私は高校生になってから初めて芋掘りをしました。
初めての体験ばかりで、農業の難しさを知れました。
毎年食べていた物がこんなに大変で農家さんに感謝することができました。
もし、もう一度芋掘りを体験することができたら、農家さんの役に立てるように行動し、
日本の農業を活性化させたいです。

次女は最強

【　これって恋ですか？　】

内子町は多くの文化財や昔からの建物が存在する趣深い町であると考えます。
伝統的な建物の他にも小田燈籠まつりや五十崎大凧合戦などの行事もたくさんあり、
これらの祭りを見て育つことができたことは自分の人生に影響を与えてくれ、
上記の理由から内子町が伝統的で趣深い町であるという点が良いと考えました。
（それと、地域創生に力を入れているところも良いところです！）

真髪成村@小結

【　子育て　】

最近は子づれの親の方をよく目にします。
私の住む地域では車もあまり通らず、危険も少ないので、
のんびりと子育てができるのでしょう。
親の後ろを元気についていく子どもの姿をみると、こっちまで元気になります。
雨の日は少し心配になりますが、きっと雨にあたらない場所で、
団らんでもしているのでしょう。
いつか大きくなったあの子猫をみてみたいです。

トマト

【　叫べガチ野良 彩れ野鳥 内子町の愉快な動物達　】

私の大好きな猫ちゃんと鳥ちゃんがたくさんいる。
かわいい野良猫、よってくる外飼い猫、
深夜2時に外で喧嘩をする元気な猫ちゃん。
翌朝父の車の下に白い毛が散らばっていた。頑張ってて可愛い。
夏に山道を歩けば美しい鳥のさえずりがきこえる。
葉っぱの間をチョロチョロ動くカラ類や、外飛ぶ大福（エナガ）、
冬の畑の監視者（ノスリ）、みんな可愛くカッコイイ鳥がいっぱい。
内子町を彩る四季折々の野鳥達。
内子町の生き物達に幸せと癒しをもらっています。

カニランテ

【パン粉がなくなっても大丈夫！】

近所の方が大変優しく、野菜などをいただくことがたくさんあります。
また、パン粉がなくなったときも貸していただきました。
内子町の強みは地域の方が優しいことだと思います。
お互いを助け合う大切さが分かる素晴らしいところだと感じました。

DX

【　小田で生きてきて。　】

僕はずっと小田で生きています。
小田にはたくさんのよいところがありますが、
その中でも僕が好きなよいところは、
地域の人が話しかけてくれることです。
昨年修学旅行で東京に行ったとき、道に迷ってた僕を助けてくれる人は誰もいなくて、
来るのは宗教に勧誘してくる外国人だけでした。
話しかけてもらえることがどれだけありがたいことかを知ることができたし、
この素晴らしい小田という町を守れるようにしたいです。

おやゆび

【　無題　】

高校入学を機に寮生活を送る中で、私は様々な発見や感動があった。
その中で最も大きな物が、自然の豊かさ。
私がもともと住んでいた大阪では、あり得ない緑の量、見渡す限りの山、山、山。
美しい自然を求め越した私の心を存分に満たした。
外へ出れば鳥が鳴き、下を向けば忙しなく動く虫に彩り豊かな花やキノコ。
まさにストレス社会において唯一残った現代人の理想郷である。
私はこの町で高校生活を送れて良かったと心から考える。

グリアっち

【　地域の人からの愛情　】

内子町に来たのは三年前でした。
初めは親元から離れて寮生活することに不安を抱えていました。
でも、いつも学校の行き帰りに「いってらっしゃい」「おかえり」を言ってくれる人、
「寮生活してるの？お野菜あげる！」とたくさんのピーマンをくれた人、
月に2回ボランティアで土日に食事が出ない寮生に食事を作ってくれるおばちゃんたち。
まだまだたくさんあるけど、地域の人から感謝してもしきれないほどの愛情をもらいました。
残りの約5か月で何か恩返しがしたいです。

かーちゃん

【　人のぬくもり　】

地域の人たちが温かいなと思った。
例えば登下校中にあいさつを返してくれたり、野菜などをおすそ分けしてもらった。
また、内子の町並保存地区でカフェに行ったときも、サービスしてくれて、
人の温かさを感じて嬉しかった。
他には、自然が豊かで空気がきれいなところ、内子座に何度か行けたこと。
住むまでは「内子町」という言葉しか知らなかったけど住んでみて良いところを知れたこと。

まぜは

【　日常の中で感じる地域の良いところ　】

季節とともに空気や景色が移り変わるため、とても楽しい。
近隣の住民は皆和やかであるため、会話がとても発展しやすい。
地域のイベントへの積極性が皆非常に高く、そのようなつながりを見ると少し励まされる。
生まれてから十何年、ほとんど姿と形が変わっていないので、
何気ない日常の中でも過去の出来事を思い出すことができるなつかしい思いと
切ない思いの両方を体験できる。

ペンネーム

【　参川ＬＯＶＥ　】

参川小学校に小学１年の時１年間だけ通って廃校になったけれどその後も盆踊りなどで使われているし、僕も友達と集まって何度も野球をして遊んだ。

参川小学校は閉校して１０年以上経っているのにも関わらず、

きれいなままなのは参川地域の方がご厚意で掃除したり、

グラウンド整備をしたりして管理しているからで、

僕たちも地域の方に見習ってグラウンドを使ったらならして帰るのが習慣になった。

素敵な方がたくさんいて温かいこの地域に住めていることを誇りに思うし、

これから大人になっても、大好きな参川を大切にしていきたい。

こいニキ

【　大きな輪　】

毎日学校への登下校で「おはようございます」「おかえり」「こんにちは」「こんばんは」と地域の方が挨拶してくれます。

私はそのほんの一瞬の空間がとても好きです。

挨拶をかわすことで、地域の方と大きな輪で繋がっているように感じられてほっこりするからです。

この当たり前の習慣がずっと続きますように。

みゆ

【　身近にある幸せ　】

内子町に住んどってよかったと思ったことはたくさんあって、
一つ目が地域の人がとても優しいところです。
登下校時に「いってらっしゃい」「おかえり」と必ず言ってくれます。
他にも、野菜をおすそわけしてくださり、助かります。
二つ目は、自然が良いところです。私が家の手伝いで農作業している時、
ふと顔を上げた時の空気や山、川、空などがとても澄んでいて風が気持ち良いです。
三つ目は、静かなところです。
都会のように人がたくさんいて静かじゃない所も良いけど、
自然に囲まれて静かにゆっくり暮らせるのも良いです。

やまもち

【　私と内子町（小田）　】

高校進学と同時に、内子町に引っ越してきました。
現在は寮に入っていて、
あちこちから来た個性豊かな仲間と毎日楽しく過ごしています。
地域の人もとても優しくて、ほっこりしています。
空気がきれいで、人々が温かく、食べ物もおいしい。
内子町に引っ越してきてよかったな、と思います。

ONE

【　内子に来てから　】

私は内子に来て良かったと思うことは、人が優しいことです。
私は進学するために内子に来ました。最初は何もかも初めてでとまどっていたけれど、
周りの人たちが優しかったおかげで少しずつ内子になれることができました。
そのおかげで今、高校でもうまくやれています。
自然も多くすごしやすいので内子に来て良かったと思いました。

小桜

【　自然がゆたかで人が優しい内子町　】

内子町に住んどってよかったと思ったことは自然がゆたかなところです。
どこを見ても自然で目がいやされるし、全体的に静かなので心地が良いです。
あともう一つが人が優しいことです。
私が通学する時、行く時「おはよう」、帰る時「おかえり」と
通るたびに笑顔であいさつをしてくれてすごく気持ちが良いです。
自然もゆたかで人も優しく住んどいてよかったと思いました。

星のＡ

【　あいさつのあたたかさ　】

私は、内子高校小田分校に入学し、小田寮で生活するために内子町に来ました。私の地元は新居浜市です。新居浜市の環境と内子町の環境は違った所が多く、特にあいさつが今までで一番うれしかったです。

中学生くらいの子からおじいちゃん、おばあちゃんまで会う人すべての人があいさつをしてくれたり、あいさつをかえしてくれます。

地元ではない光景なので、すごくうれしくて、朝でも夜でもほっこりとした気持ちになります。

なので、内子町に住んで、内子町のことが大好きになりました。

ひな

【　初めての経験　】

高校に進学する為に大阪から内子町に来ました。
中学3年生の時、学校見学で初めて内子町に来た時、
自然の豊かさ、人の温かさがとても魅力に感じました。
内子町に来て約5ヵ月。夏は川で遊び、沢山の植物や生き物と触れ合う。
夜はきれいな星が見え、歩いていると町の方が声をかけてくれます。
こんな経験をしたのは初めてです。
この町で色々なものに触れ、内子町でしかできないことを沢山経験し、
成長したと感じるような三年間にしたいと思います。

あやの

【　小田が山。　】

僕は小田分校に進学するために寮に入ったんですが、川に入るの気持ちよすぎます。
山だからなのか知らんけど朝外出た時とかもまじで気持ちいいです。
あとそこらへんにノビルとか生えてるけどまじでおいしすぎます。
さすがに山すぎます。最高です。

ゴーリキー

【　ラーメンキメるのがちで気持ちよすぎる　】

内子には学校の進学のために寮に入ったのですが、
一回休みの日にとてもおいしいラーメン屋を見つけて、
スープが濃くて麺がのど越しがよくて大盛でもペロッと食べれました。
すごくおいしかったのでまた食べに行きたいです。

ウホッホ探検隊

【　内子町に住んでてよかったこと　】

内子に住んで半年、私は朝の気持ち良さに気付きました。
ゆとりのある町並みがそうさせたのでしょうか。
朝起きると思わず「気持ちいいですね！」とつぶやいてしまします。
私の通う高校、小田高校が内子高校とガッチンコ！と合併し、
小田校はよりよくなったように感じます。
これからも私はうちこを愛し続けるでしょう。

なかちゃん

【　あふれ出す自然　】

私は寮生で小田に来ましたが、とても多く自然がありとても美しいです。
私は趣味でサイクリングをしており週末にはよく行っており
小田の自然の涼しさを味わっています。
他にも川で多く遊び、プールなどとは違う楽しさがあり、
山もとても自然深く、とても登りがいがありました。

オッチーＭＫ２

【　内子に住んで　】

僕は今年の４月から内子町に住み始めました。
元々、東予の方に住んでいたので、
同じ県でも東予と南予の方で意外と文化に差があるんだなーと思いました。
例えば鯛めしは東予では炊き込みごはんのような感じですが、
南予では白米に刺身をのっける丼ぶりみたいな感じでした。
こんな感じの文化の違いをこれからもさがして行きたいです。

オギ

【　歴史を大切に　】

私は１６年間内子町に住んでいます。
幼稚園から獅子舞を体験し、小学校では内子町の町並みについて勉強して、
中学校では「どうしたら人口が増えるか」や
「空き家をどう活用するか」などを考えていました。
この活動を通して昔ながらの文化を大切にしているなと感じています。
この文化や歴史はどこにでもあるようなものではないので、
少しでも後に残せるようにしたいし、私自身も大切にしていきたいです。

みーむ

【　自然ときれいな所　】

内子町に住んどってよかったことは
自然がきれいな所と水がきれいな所です。
水がきれいだから毎年の夏休みに
川に泳ぎに行けるからとてもいいです。
川にゴミを捨てたりすると汚くなってしまうので
ゴミを見つけたらゴミを拾って
ゴミ箱に捨てるようにしたいです。

胃害食離

【　地域の方々の優しさ　】

僕は小田に来て気づいたことがあります。
それは、地域の方々の優しさです。
都会にはない物がここにはあります。
毎日のように交わす挨拶。
信号機のない横断歩道では先に渡っていいよと
ジェスチャーをしてくれて、渡らせてもらったりなど、
ここにしかない優しさに気づくことができました。

小田信長

【　人の優しさ　】

私は寮に入るため小田に来ました。
小田は地域の人たちの関りが深くとても楽しく過ごせています。
地元より話しかけてもらえて心がほっこりします。
寮母さんや舎監さん、食事会を開いて下さる方々、
「いってらっしゃい」「おかえり」を言って下さる人たちなど
たくさんの人に支えてもらっています。
今までになかった地域の人の優しさでとまどってしまうこともありますが、
あたたかく見守ってくださるので毎日過ごしやすいです。
いつも助けてもらっているので地域の人たちにも
「住んどってよかった」と思ってもらえるように
これからも挨拶をしっかりし、感謝を欠かさずしていきたいです。

ねるね

【　内子町に来て　】

内子町に住んでいて、内子町の人はよくあいさつを返してくれたり
あいさつをしてくれたりします。
高校に進学するために内子町にやってきましたが僕はその事に驚きました。
僕はあいさつをするのが苦手でしたが
内子町に来てからだんだんとあいさつをする事ができるようになってきました。
あいさつができるようになり自分が少し明るくなった気がします。
内子町に来て本当によかったです。

弓子

【　無題　】

内子町に住んどいて良かったと思ったことは、
近所の人があいさつをしてくれたり、たまに食べ物をおすそわけしてくれることです。
柿とかぶどうとか果物がおいしいところ。
自然も豊かで夏は川で遊んだり、冬は雪がつもり、スキーとかができること。

リュウペイ

【　よう似とる！　】

「住んどって」ではなく、「通っとって」にはなりますが…。

内子町内の学校に勤めて早６年目になります。

豊かな四季の自然の中で、

こつこつ真面目に暮らす子どもたちにたくさん出会うことができました。

約束を絶対に守る義理堅いところ、頼まれ事こそ張り切るお世話焼きなところ、

自分よりもひとの為に動く優しすぎるところ、

自分の良さをあんまり分かっていないシャイなところ。

この町の大人に出会う度に「この親（地域）にして、この子あり」と

心がじんわり温かくなります。

草むしり４級

【　自慢の内子　】

私が内子町に住んでいて良かったと思うことは、伝統的な行事が多くあることです。
笹まつり、夏まつり、おみこし、最近だと観月会がありました。
私も実際に行きましたが、美しい内子の町並とマッチしていて、とても風流でした。
たくさんの人が来ていて、やっぱり内子はすごいな、と改めて実感することができました。
他にも内子町にどんな行事があるのかインターネットで調べてみて、ぜひ参加したいです。

みゆ

【　内子座で狂言を学べたこと　】

私が内子町に住んでてよかったと思うことは、
長い歴史・伝統をもつ内子座で狂言が学べたことです。
狂言を学ぶ機会はなかなかなく、
そして、１００年以上も続く内子座で学べることはほかの地域ではないので、
すぐに「習ってみたい！」と思い習い始めました。
東京から先生が毎月2回来てくれていました。
内子座で舞台もあり、とても楽しかったです。
最終的には辞めてしまったけど、長い歴史・伝統をもつ内子座で狂言が学べてよかったです。

めぐりーな

【　学校での凧づくり　】

僕が内子町に住んどってよかったと思ったことは凧です。
僕がいた学校では凧を作りました。凧は和紙に竹をつけ文字を書き、ひもを付け揚げるとこまでやりました。
他の場所では、そんなことはできないと思います。
だから内子町に住んでいてよかったです。
それに、教えてくれるために来た人はとても優しくていねいに教えてくれるので内子町に住んでいてよかったです。

和氣

【　内子のいいところ　】

内子はたくさんの自然にかこまれていて、空気がととてもきれいです。
だから外出する時も気分よく外出や散歩ができます。
街の方へ行くと、スーパーもドラッグストアもコンビニもあるし、
たくさんの飲食店だってあります。
町民の人たちもみんな親切で暮らしやすくていいところだなと思っています。
大人になって、内子から離れたとしても必ず戻ってくると思うので、
これからも大切に守っていきたいです。

いりえ

【　ささいな色々　】

私が内子に住んでいて良いなーって思うことは、色々あります。

一つ目は帰り道に１００円自販機があることです。

部活で疲れた日などは重宝するし、

おいしいカフェオレがあるからこれだけで住んでて良かったーてなります。

二つ目は河原があることです。意外と広いのであそべるのでいいです。

昔はここでペットボトルロケットとかして楽しんでいました。

パーで勝つ

【　内子に住んでてうれしかったこと　】

私はちょうど町並みの部分に住んでいます。
もともと五十崎に住んでいましたが引っこしてきて、
中学校までの道のりが5分と短かったのが一番よかったなと思うことです。
私が住んでいるところは安全なので安心して歩いたり暮らしたりしています。
この前少し年上の人と話しているとき、
内子町の町並みに住んでいると言うと、
景観がいいし自然もいいからいいところだよねといわれました。
その話で盛り上がれてうれしい気持ちになりました。

ゆう

【　ドイツに行けるかも!?　】

私が、内子町に住んどってよかったと思ったことは、
内子町がドイツのローテンブルク市と姉妹都市なことです。
私は、６月に派遣される人に応募しました。
作文と、面接をして選ばれなかったけれど、ドイツについてたくさん調べて、
ドイツについて知ることができたのでよかったと思います。
来年も応募したいと思っています。内子町に住んでいなかったら応募すらできないので、
内子町に住んどってよかったと思いました。

れもん

【　内子に住んでよかった！　】

内子町の地域の人はみんな優しくて、
小学生の頃からあいさつをする習慣が身についていました。
学校の行事でも、川や山などの豊かな自然に触れられる機会が多く、
今までもいろいろな体験をさせてもらいました。
自分の将来に活かせる経験がたくさんできるので、内子に住んでいてよかったと思いました。

ひな

【　無題　】

私が内子町に住んどってよかったことは、
自然が豊かで食べ物がおいしくて町民の人達が優しいところです。
幼少期は、よく森に行き自然の中で虫取りや兄弟と遊びました。
そのおかげで今でも虫が大好きです。
町民の人からおすそわけで果物をもらえたり、
挨拶をしたら優しく返してくれるので内子町に住んでてよかったと思います。

カムサリ

【　歴史が学べる　】

私が内子町に住んでて良かったことは、内子座や町並みなどの歴史を学べるところです。
このようなことは、なかなか学べる機会がないと思うので、
内子町に住んでいて良かったなと思います。

いずみ

【　無題　】

とても自然が豊かで果物がおいしい。
地域の交流があってとても楽しい。
とても地域とのつながりが強いと思った。
そして、とても治安が良い町だと思います。
人が温かく、安心して暮らせる町です。
子どもの医療費が無償なのはとても良い制度だと思います。
子どもが健康に生活することが出来るよう
これからも続けてほしいです。

ジョン

【　大自然　】

僕が思う内子町に住んでいて良かったと思うことは、自然がとても豊かだということです。
夏はトンボやセミなどたくさん動物がいて楽しいと思います。
夏の夜は、川でホタルも飛んでいます。
それは、とてもきれいで毎年行きたくなると思います。
他にも川で泳いだりいろんなところを探検したりできます。
僕のおすすめはホタルだから見たことない人は見てほしいです。

m
k

【　歴史と触れ合う　】

僕が内子町に住んでいて良かったことは、歴史を身近に感じれるところです。
都市の方では、歴史的なものが、少なくなっていたり、無かったりしているけど、内子町は歴史的なものや文化が続いており、勉強面でとても役立っています。
また、その歴史的なものや文化は観光の面でも役立っていると思います。
今は、海外から観光に来る人が増えており、とても繁盛しています。
このような国内外問わず知名度のあるこの町に住んでいて良かったと思います。

あゆ

【　いろいろ　】

内子町は、自然との距離が近く小さい頃から外に出て
自然のすばらしさや美しさを知ることができた。
特に、石畳や小田深山の自然はとても美しかった。
便利なところは、内子から松山、内子から宇和島などとほかの市や町に行きやすいところだ。
内子はＪＲも高速道路も通っているため交通手段が様々で、
宇和島と松山の中間地点となるのでとても便利である。

K．tofu

【　無題　】

内子町に住んどって良かったと思ったことは、
祭りなどでの行事が楽しいことと、きれいなことです。
夏祭りや笹祭りはいろいろな屋台があってとても楽しいです。
内子町はゴミがあまり落ちていなくて、気持ちよく過ごせています。
祭りがあってもゴミが落ちていることを見かけないのはとてもすばらしいことだと思います。

なっきー

【　内子町に住んどって良かったこと　】

昔、父親の年賀状の中に、変な名前を発見
「返却」ずっと頭の片隅に残っています。
内子と小田町の合併により、他人との関わりが広くなり、
最近色々な方から、父親の若き日のことを知り感激しております。
生きた声が聞けました。
又、返却に関しても「木地師が木地師を廃業して、支配本所に免許と小倉姓を返したことから
当て字にして明治新姓時に創姓した」と言う事を知り、
我が家の身内にそういう方がおられたんだと驚きました。

いのッチ

【　内子町に住んどって良かった　】

子どもの入学を機に、人権学習に参加できた事です。
私たちの子供の頃は、地域の子供が輪になって遊びまわっていたものです。
ある時「あの子、どこの子ぞ」という質問に答えた時、
不自然な雰囲気を感じたのを覚えています。
学習を通して、江戸時代からの長い年月の差別と解り、
個人では解決できない根深いものを感じました。
これこそ、生涯教育と事の重大さに気付かされました。
最近になって、子供・孫を通して質問したところ『歴史上の事でしょう』と返答あり。
津波が、さざ波になってると。地道な教育のお陰かなと納得しました。

いのッチ

【　内子町に住んどって良かった　】

実は、私Ｕターン組です。

一度は、外の世界も体験してみたかった。

県外就職を経験し縁あって内子に嫁いで参りました。

今思えば、最初に感激したのは曽我十郎の大祭に参加した事。

息子の剣道着姿の行列と共に道中の両サイドの草刈り後の壁の景色に感動した事を思い出します。

私もいつの日か、草刈りが上手になりたいと。

七十過ぎても草刈り機が手放せないのは、その時の感動を忘れていないからです。

いのッチ

【　人生の転機は内子　】

内子町に縁ができたのは２０１４年のこと。
某地区で郷土芸能を継承させていただいたことがきっかけでした（現在も継承中）。
２年ほど内子の一等地一番地に住まいを見つけ、町内の企業に就き、人生初の一人暮らし！
そして恋愛！
ほどなく別れてしまいましたが…
間違いなく人生の転機は内子でした！
内子町に住んどってよかった！

内子に片足つっこんだ

【　昔わんぱくの帰る町　】

雨の中の笹踊りからもう二十年、小田川の流れに沿って私は内子の住民となる。
時節には抗えず、目に見えて人の数は減少した。
されどここに住む仲間で今を元気にと、
小田分校寮生達と月二回の”おばちゃん食堂”を楽しんでいる。
そんな話を聞き応援してくださる地域の人達。
そしてふるさとを後にした友や幼馴染は、
遠くから支援と、手伝いに帰る。
昔のわんぱくは「あんた等がここに居てくれるから帰って来れるんぜ、有難いよ！」
ここはいい町です。

千代子

【　私のこころの風景　】

約１０年前、私が小学生の時の話です。
友達の家に向かう途中にある、当時のフジや内子駅前に広がる田んぼの風景が好きで、
特に夏や秋ごろの稲穂波の姿は今でも心の原風景となっています。
中学を卒業し、高校通学のため内子駅に毎日通うころには、田んぼは新しい住宅地になり、
以前のような景色ではなくなってしまいましたが、
少し高い位置にある駅のホームから新しく増えた住宅地を眺めるときは、
その地域のこどもたちが元気に登校している姿が見え、
昔を懐かしむ気持ちと母校の後輩の様子に元気をもらえていました。

夢は火野正平さん

【　こどもたちの元気が町の魅力です　】

私は内子町のいたるところをよその人に案内することが多いのですが、
その時によく言われるのが、
「内子の子どもたちはどうしてこんなに挨拶してくれるの？」ということです。
たしかに言われてみれば、地元の我々に対しても小中学生たちはいつも元気に、
しかも子どもたちの方から挨拶をしてくれます。
きっと活気あふれる街の人や内子町を訪れる人の多さが、
学校で習う「誰にでも元気に挨拶をする習慣」を定着させているのだと思います。
内子の教育と町のにぎわいがお互いにいい影響を与えていて、
どちらもかけがえのない街の魅力だなと感じています。

大瀬のままに

【　町の人のあたたかさを感じた話　】

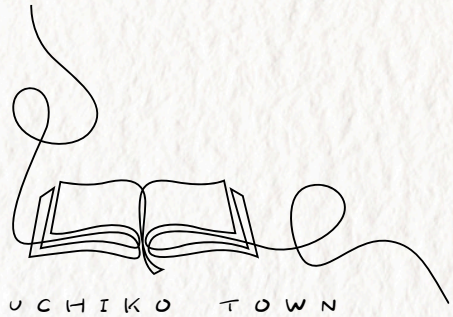
小学５年生のころ、私は内子六日市に住んでいました。
母にひどく叱られた私は、翌朝早くに思い切って小田までの家出を試みました。
携帯もなく、いくら歩いても食堂もないことに絶望していたら、
大瀬のおじいさんが食べ物をくれました。
楽しくなって梅津トンネルまで歩いていたら、軽トラに乗った農家さんに声をかけられ、
優しく諭されながら六日市の家まで送り返してもらえました。
６時間のプチ家出は親に知られることさえなく終わりましたが、
内子の人の温かさに助けられた良い思い出です。

屋根付き橋封鎖させません

おわりに

応募してくださった皆さま、
エピソード集をお手に取ってくださった皆さま
本当にありがとうございました。

これからも町内外問わず
たくさんの人に愛され続ける
内子町でありますように―


UCHIKO TOWN